

ラジオコントロールヘリコプター テレビファルコン vol.2

屋外／屋内

対象年齢
15歳以上

！本書の説明・注意事項を守らずに発生した故障や破損は有料修理となります！



くちにれない



ひにちがつけない



みずにぬるさない



ひとにむけない

警告（けいこく）

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意（ちゅうい）

※ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

《ヘリコプター用充電式電池を誤使用すると発熱・破裂・発火・液もれの危険があります。下記に注意してください。》

- 「テレビファルコン vol.2」専用充電式電池以外を絶対に使用しないでください。
- 「テレビファルコン vol.2」専用充電式電池を他の製品などには絶対に使用しないでください。
- 充電の方法については、取扱説明書の説明を必ず守ってください。
- 充電式電池に変形、変色、異臭、液もれなどの異常を発見したときは、充電および使用しないでください。
- とがったものでさしたり、踏みつけたりしないでください。外装シートは破損しないようにしてください。
- 強い衝撃が充電式電池に加わると、ふくらむなどの変形がおきる可能性があります。充電の際には必ず変形などの異常がないか確認してください。
- ショートさせると大電流が流れ、危険です。絶対にさけてください。
- ヘリコプターや充電式電池が水にぬれたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。
- 分解、改造、ハンダ付けなどをしないでください。
- 火の近く、直射日光が当たる場所、高温多湿になる場所、車中での、充電、使用、保管はしないでください。
- 水や火の中に入れたり、加熱しないでください。
- 充電は、必ず目の届くまわりに燃えやすいものがないところでおこない、ヘリコプターとコントローラーまたはUSB充電ケーブルに異常がないことをつねに確認してください。
- コントローラーからの充電中に下記の異常がおきたときは、すぐにコントローラーの電源スイッチをOFFにしてヘリコプターに接続している充電プラグを取りはずしてください。
 - ・コントローラーの充電ランプ（緑）とヘリコプターのパワーランプ（緑）が点灯しない
 - ・110分以上充電してもコントローラーの充電ランプ（緑）とヘリコプターのパワーランプ（緑）が消灯しない
 - ・異常に熱い ・ヘリコプターまたは充電式電池がふくらんだ ・異臭がする ・煙が出ている
- パソコンからの充電中に下記の異常がおきたときは、すぐに接続したUSB充電ケーブルとヘリコプターに接続している充電プラグを取りはずしてください。
 - ・ヘリコプターのパワーランプ（緑）が点灯しない
 - ・110分以上充電してもヘリコプターのパワーランプ（緑）が消灯しない
 - ・異常に熱い ・ヘリコプターまたは充電式電池がふくらんだ ・異臭がする ・煙が出ている
- 充電済みの充電式電池に再充電しないでください。
- 使用後、再充電するときは必ず15分以上の時間をおいてください。
- 使用後は必ずヘリコプターの電源スイッチをOFFにしてください。
- 充電式電池を単体で持ち運ぶときや保管するときは、充電式電池に外的圧力がかからないように注意し、コネクタ端子間がショートしないようにしてください。
- 廃棄するときは、ヘリコプターから充電式電池をとりはずし、リサイクル協力店をお持ちください。

《コントローラー用電池を誤使用すると発熱・破裂・液もれのおそれがあります。下記に注意してください。》

- コントローラーにはアルカリ乾電池のみご使用ください。充電式電池、マンガン乾電池は絶対に使用しないでください。充電式電池、マンガン乾電池はアルカリ乾電池と電圧、電池容量が異なるため正常に動作しない（パワーランプ（赤）が点滅するなど）おそれがあります。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使わないでください。
- ＋（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中にいれたりしないでください。
- 万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
- 使用後は必ずコントローラーの電源スイッチをOFFにしてください。
- 乾電池を廃棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。

《思わぬ事故、ケガの原因になります。下記に注意してください。》

- 事故の危険があります。屋外で使用するときは、電線、線路、道路、空港の近くでは使用しないでください。
- 万一電線に絡んだときは、自分で取らずに近くの電力会社や駅などに連絡してください。感電の危険があります。
- 危険です。道路や人ごみでは使用しないでください。屋外では安全な場所を選んでください。
- 屋外で使用中に雷が鳴り出したらすぐに使用を中止してください。落雷の原因になります。

⚠ 注意 (ちゅうい)

- 自動車の中や直射日光が当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。自動車の内装や部品に悪影響を与え、火災の原因となるおそれがあります。
- 屋外での使用時は風の強い天気の悪い日を選んでください。
- 対象年齢未満のお子様近くにいるところで使用しないでください。また、対象年齢未満のお子様使用させないでください。思わぬ事故、ケガをするおそれがあります。
- 使用前に必ずヘリコプター、コントローラーに破損しているところがないか確認してください。
- ヘリコプターはプロペラを高速回転させて飛ばす構造になっています。人にあたらないように気をつけて操作してください。思わぬ事故やケガをするおそれがあります。
- 操作中はプロペラなど機体に触れないでください。顔や目のケガを防ぐために保護メガネの着用をおすすめします。
- ヘリコプターやコントローラーの隙間にピンや針金などの異物をいれないでください。
- ヘリコプターのプロペラなどの可動部分に指や髪の毛、衣服などをまきこまれないように注意してください。ケガをするおそれがあります。
- 操作時は地面やイスに座ったりせず、必要なときいつでも動ける状態で操作してください。
- ぶつけたり、ふりまわすなどの乱暴な扱いをしないでください。
- ヘリコプターやプロペラが、地面、壁などにぶつかりそうになったら操作をやめてください。ヘリコプターやプロペラが破損したり、ケガをするおそれがあります。
- 使用後は必ずヘリコプター、コントローラーの電源スイッチを OFF にしてください。電池の消耗、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

遊ぶときの約束

- 気温 5℃ 以下の場所では使用しないでください。充電式電池の性能が十分に発揮できず、正常な操作ができないおそれがあります。
- 運搬時や長期保管するときは、破損、変形を防ぐため商品パッケージにに入れてください。

使用周波数帯 2.4GHz について

本製品の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯はラジオコントロール (車、飛行機、ボートなど) 以外でも下記のような機器で使用されています。

・電子レンジ ・無線 LAN ・ゲーム機や携帯電話の Bluetooth など

他のラジオコントロールや機器によって 2.4GHz 帯域が使用されていると、周囲に同帯域のノイズが発生している場合があります。事前に高さ 1m 程度で飛行テストをおこなって本製品が正常に動作する事を確認し、他の機器への影響に注意してください。

電波法、2.4GHz の技術基準適合証明について

日本国内では、技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術基準適合証明ラベルが貼られている製品が使用できます。本製品は技術基準適合証明を取得し、技術マークを貼付しています。技術基準適合証明ラベルを剥がしたり汚さないでください。海外からの輸入品等、技術基準適合証明ラベルが貼られていない製品を日本国内で使用すると電波法違反になる場合があります。

ヘリコプターを飛ばす前にならずお読みください

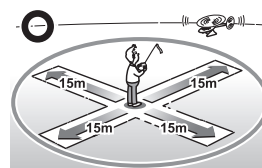
ラジオコントロールのヘリコプターの操縦は、飛ばすときの状況や操縦者の操縦ミスによって他人をケガさせたり、物を壊してしまうなど予期せぬ事故が起こる可能性があります。是非、お客様が事前に個人賠償責任保険などにご加入のうえ、お遊びくださることをお勧めします。詳しくは一般の保険会社にお問合わせください。

安全飛行のお約束

本製品は安全に配慮した設計を施していますが、ルールを守ることが前提です。もし、本書の説明・注意を守っていただけない場合は、重大な事故につながる可能性があります。十分注意の上遊んでください。

飛行場所について

- かならず周囲に人がいないことを確認してください。
- イラストのような周囲に障害物がなく、見通しの良い屋外または屋内を選んでください。
- 飛行には無風が最適です。屋外で使用するときは、地上で風が弱くても上空では風が強いことがあります。風下に川や沼などがなく風に流されても安全な場所を選んでください。
- 子供たちが近寄らないように注意してください。
- 操作可能距離：約 15m



ひこう さいてき じょうけん 飛行に最適な条件
■ 障害物がなく見通しの良い広い屋外・屋内 ■ 草地のようなやわらかい地面 ■ 岩や藪などのない平らな地面 ■ 風の強い日

ひこう ふてきせつ じょうけん 飛行に不適切な条件
■ 道路・鉄道・高圧線などに囲まれた場所 ■ 風が強い日・場所 ■ 人がたくさんいる場所 ■ 川・沼・湖・海岸に近い場所 ■ 家屋が密集した場所 ■ 十分な広さのない屋内

自然状況に注意

- 強風時や降雨、降雪が激しいとき、雷の発生時は飛行をあきらめましょう。
- 激しい乱気流が予想される高い建造物や樹木などがある場所での飛行は避けましょう。
- 風に流され紛失するおそれがあります。無風のときや場所を選んで遊んでください。

- 上昇気流が強過ぎると、下降しにくく高度をあげすぎて操作不能になることがあります。
- 気温の高い無風時には強い熱上昇風が発生することがあります。
- 斜面や土手などの下から強い風が吹き上げる場所にも上昇風が発生することがあります。

仕様

※飛行時間、充電時間、充電回数、操作可能距離はあくまで目安です。電池メーカーや使用状況などによって異なります。

■連続飛行時間：約6分

■コントローラーからの充電時間：約90分

■コントローラーから専用充電式電池への充電回数の目安：約3回（新品アルカリ乾電池使用時）

■パソコンからの充電時間（USB充電ケーブル使用）：約90分

■使用周波数帯：2.4GHz

※日本の電波法に従う技術基準適合証明を取得しています。

■最大4機同時飛行可能

■操作可能距離：約15m

■ヘリコプター専用充電式電池

：リチウムイオンポリマー電池（セット済み）

※専用充電式電池は単品販売もしています。詳しくは13ページをご確認ください。

■コントローラー用電池

：単3形アルカリ乾電池×8本（別売り）

※アルカリ乾電池のみご使用ください。充電式電池、マンガン乾電池はアルカリ乾電池と電圧、電池容量が異なるため正常に動作しないおそれがあります。絶対に使用しないでください。

※コントローラー用電池が消耗して充電電池への充電ができないときは、すべて新しい電池に交換してください。（コントローラーの電池容量が少なくなるとパワーランプ（赤）が点滅します。）

■モニターサイズ：1.8インチ

■記録媒体

：マイクロSDカード 2GB～32GB対応（別売り）

※SDHCカード対応

	静止画	動画
ファイル形式	JPEG	ASF
撮影サイズ	30万画素 VGA： 640×480	30万画素 VGA： 640×480・30fps
	7.6万画素 QVGA： 320×240	7.6万画素 QVGA： 320×240・30fps

■画質：

L（Low/低画質）、M（Medium/中画質）、H（High/高画質）

※静止画、動画ともに3段階の画質が選択できます。

※静止画の撮影枚数、動画の撮影時間の目安は8ページをご確認ください。

※パソコンでの動画の再生にはSMPlayerが必要です。

<http://sourceforge.jp/projects/smplayer/> からダウンロードしてください。

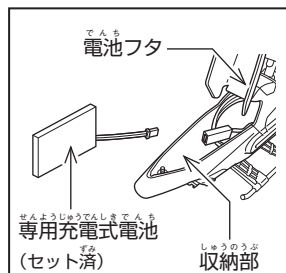
ほうしき デジタルプロポーション方式
ヘリコプターにはデジタルプロポーション方式を採用しています。レバーを倒す角度に応じてプロペラの回転速度が変化し、各アクションをスムーズにコントロールします。

スリープモード
ヘリコプターとコントローラーは、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分放置するとスリープモードになります。スリープモードを解除するには、ヘリコプターとコントローラーの電源スイッチを OFF にして再度ペアリングしてください。（6 ページ参照）

セット内容と各部説明

※実際の商品とイラストは多少異なります。

ヘリコプター：1機

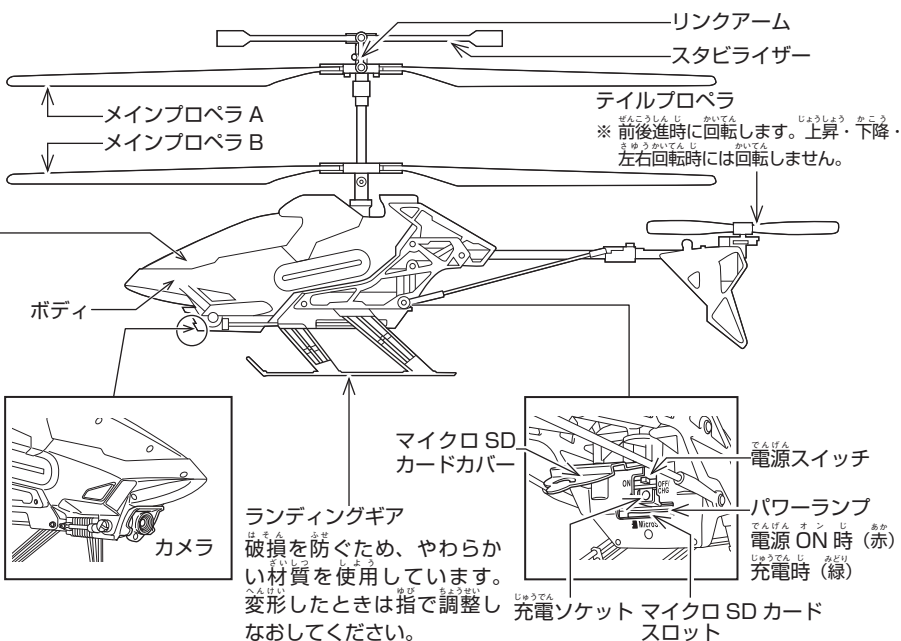


※電池フタの開閉方法は、14ページを参照してください。

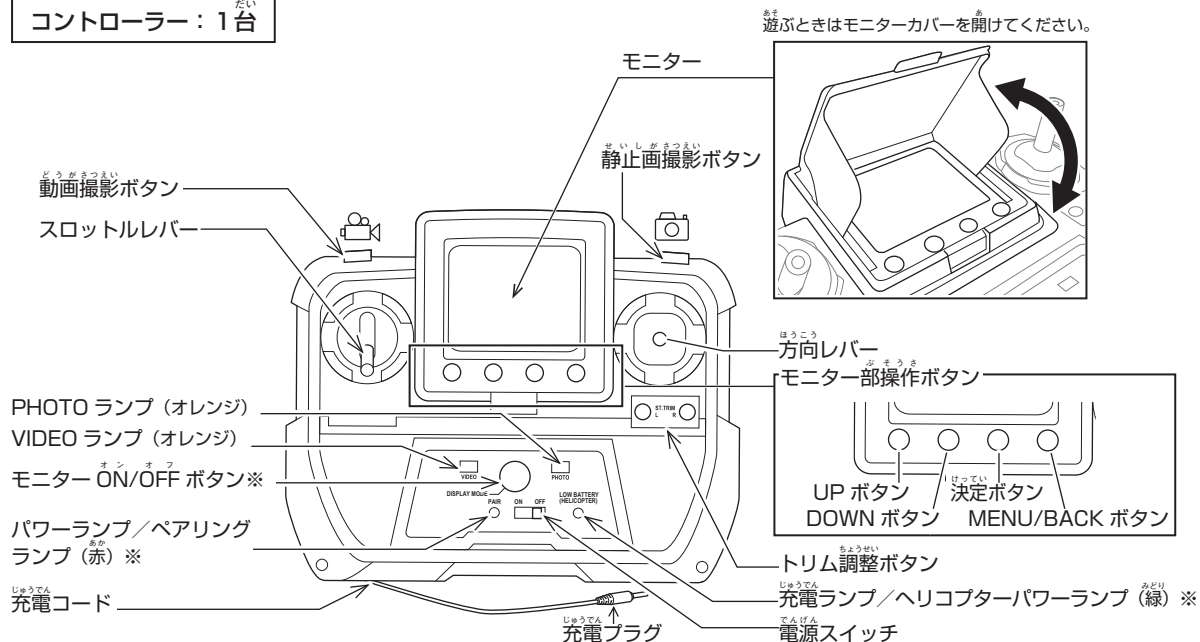
※専用充電式電池は単品販売もしています。詳しくは13ページをご確認ください。



ジャイロセンサー搭載
機体の姿勢を制御し
飛行を安定させます。



コントローラー：1台



※モニター ON/OFF ボタン

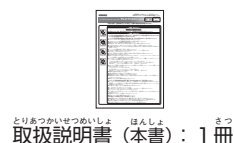
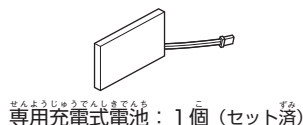
コントローラーの電源スイッチを ON にすると、モニターが ON になります。モニター ON/OFF ボタンを押すと、モニターは OFF になります。

※パワーランプ/ペ어링ランプ (赤)

コントローラーの電源スイッチを ON にすると、ゆっくり点滅します。ヘリコプターとペ어링すると、点灯に変わります。

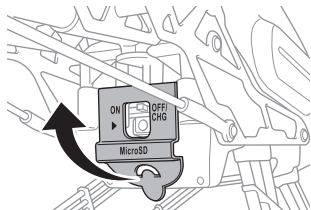
※充電ランプ/ヘリコプターパワーランプ (緑)

ヘリコプターの電池容量が少なくなると点滅します。



マイクロ SD カードをセットする

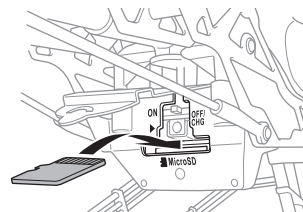
- ① ヘリコプターの電源スイッチが OFF になっていることを確認して、マイクロ SD カードカバーを開けます。



- ② マイクロ SD カードの端子面を上にして、カチッと音がするまでマイクロ SD カードスロットにまっすぐ差し込みます。

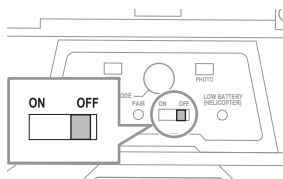


端子面

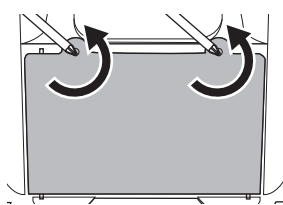


コントローラーに電池をセットする

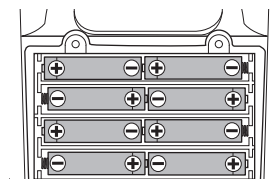
- ① コントローラーの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。



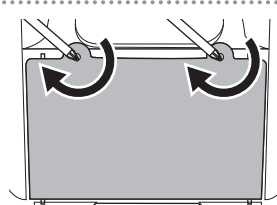
- ② コントローラー裏面の電池カバーのネジを、プラスドライバー（またはマイナスドライバー）でゆるめて電池カバーをはずします。



- ③ 単 3 形アルカリ乾電池 8 本を、＋（プラス マイナス）がイラストと同じになるように正しくセットします。



- ④ 電池カバーを取り付け、プラスドライバー（またはマイナスドライバー）でネジをしめます。

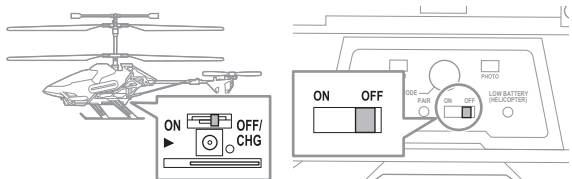


※ コントローラーの電池容量が少なくなるとパワーランプ（赤）が点滅します。すべて新しい電池に交換してください。

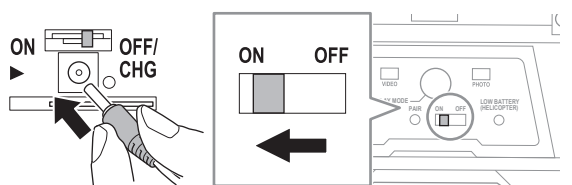
ヘリコプターを充電する：コントローラーからの充電

充電時間：約 90 分

- ① ヘリコプターとコントローラーの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

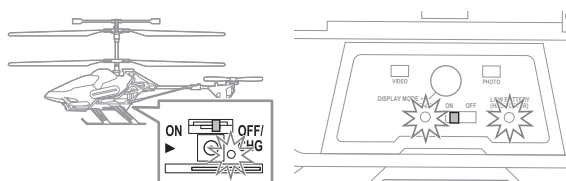


- ② コントローラーから充電コードを取り出し、充電プラグをヘリコプターの充電ソケットに真っすぐさしこみます。コントローラーの電源スイッチを ON にします。



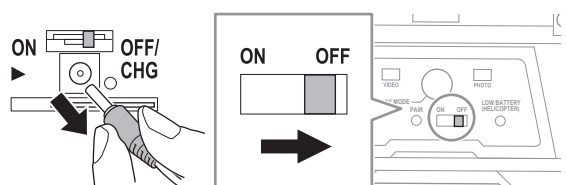
※ しっかりと奥まで差し込まないと充電できません。

- ③ 充電中は、コントローラーのパワーランプ（赤）と充電ランプ（緑）、ヘリコプターのパワーランプ（緑）が点灯します。ヘリコプターのパワーランプ（緑）が消灯すると充電完了です。



※ 電池が消耗していないときは、90 分より短い時間でコントローラーの充電ランプ（緑）が消灯します。

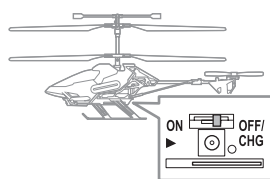
- ④ コントローラーの電源スイッチを OFF にします。ヘリコプターの充電ソケットから充電プラグを真っすぐ引きぬき、充電コードを戻します。



ヘリコプターを充電する：パソコンからの充電（USB 充電ケーブル使用）

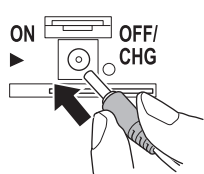
充電時間：約 90 分

- ① ヘリコプターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

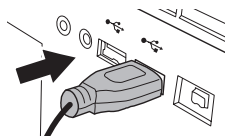


- ② USB 充電ケーブルの充電プラグを、ヘリコプターの充電ソケットに真っすぐさしこみます。

※ しっかりと奥まで差し込まないと充電できません。

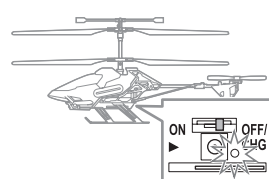


- ③ パソコンの電源スイッチを ON にして、USB 充電ケーブルを接続します。

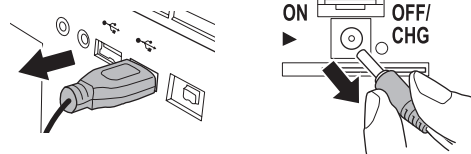


- ④ 充電中はヘリコプターのパワーランプ（緑）が点灯します。消灯すると充電完了です。

※ 電池が消耗していないときは、90 分より短い時間でパワーランプ（緑）が消灯します。



- ⑤ パソコンから USB 充電ケーブルをはずします。ヘリコプターの充電ソケットから充電プラグを真っすぐ引きぬきます。パソコンの電源スイッチを OFF にします。



充電に関する注意

- ❗ 充電は、かならず目の届くまわりに燃えやすいものがないところでおこない、ヘリコプターとコントローラーまたは USB 充電ケーブルに異常がないことをつねに確認してください。
- ❗ USB 充電ケーブルは、かならずパソコンの USB コネクタに接続してください。
- ⊗ 市販の USB 用 AC アダプタ、USB ハブは使用しないでください。
- ⊗ 車中では充電しないでください。
- ❗ 充電完了後は、ヘリコプターの充電ソケットとコントローラーの充電プラグ、または USB 充電ケーブルと接続した状態で放置せずにならず取りはずし、コントローラーの電源スイッチを OFF にしてください。

- ❗ 使用後、再充電するときは、かならず 15 分以上の時間をおいてください。

- ❗ 充電中に下記の異常がおきたときは、すぐにコントローラーの電源スイッチを OFF にして、ヘリコプターの充電ソケットからコントローラーの充電プラグ、またはパソコンに接続した USB 充電ケーブルを取りはずしてください。

- ・ コントローラーの充電ランプ（緑）とヘリコプターのパワーランプ（緑）が点灯しない
- ・ 110 分以上充電してもコントローラーの充電ランプ（緑）とヘリコプターのパワーランプ（緑）が消灯しない
- ・ ヘリコプターまたは充電式電池がふくらんだ
- ・ 異臭がする ・ 煙が出ている ・ 異常にあついている

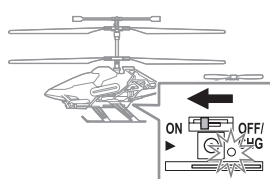
ペアリングする

ペアリングとは、ヘリコプターとコントローラーそれぞれを相互認識させることです。ペアリングしないとヘリコプターを操作することができません。ペアリングは、ヘリコプターとコントローラーを近づけて行ってください。

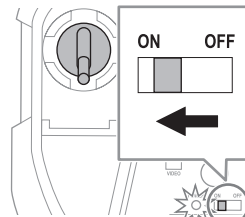
- ・ かならず 1 機ずつペアリングしてください。
- ・ ペアリング中、周囲で他の機体を操作しないでください。

- ・ 使用するたびにペアリングしてください。

- ① ヘリコプターの電源スイッチを ON にして平らな場所に置きます。パワーランプ（赤）がゆっくり点滅します。



- ② コントローラーのスロットルレバーが一番下にあることを確認し、電源スイッチを ON にします。パワーランプ（赤）がゆっくり点滅します。

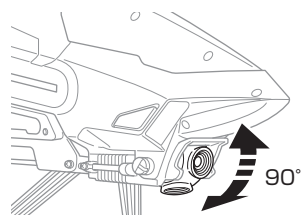


- ③ ペアリングにかかる時間は約 15 秒です。ペアリングが完了すると、コントローラーのモニター画面が初期画面からカメラ映像に変わります。

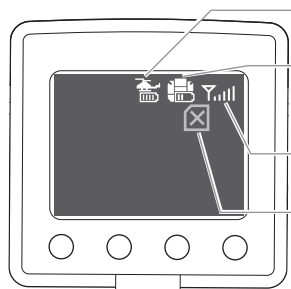
カメラのアングルを調整する

カメラのアングルは、コントローラーのモニター画面を見ながら手動で調節してください。カメラのアングルは、ヘリコプター正面から真下に 90° の調節ができます。

※コントローラーのスロットルレバーをさわらないよう気をつけてください。



モニターアイコン



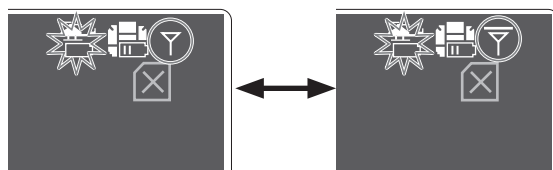
ヘリコプターの電池残量を示します

コントローラーの電池残量を示します

ペアリング中を示します

マイクロ SD カード
なし／記録不可を示します

ヘリコプターの電池残量は、スロットルレバー操作時に表示されます。

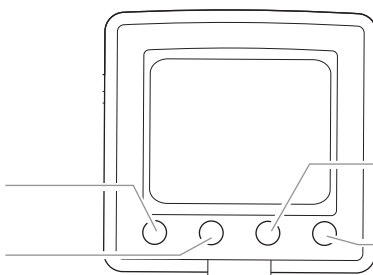


ヘリコプターの電池容量が少なくなると…
ヘリコプターの電池残量アイコンが点滅し、アンテナアイコンの大きさが交互に入れ替わります。

モニターを設定する

UP ボタン
カーソルを移動します

DOWN ボタン
カーソルを移動します

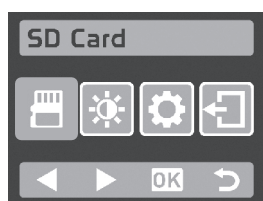


決定ボタン
選択を決定します

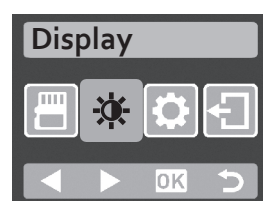
MENU/BACK ボタン
・設定画面へ切り替えます
・1つ前の画面へ戻ります

輝度とコントラストを調整する

① MENU/BACK ボタンを押してメインメニューを表示させます。

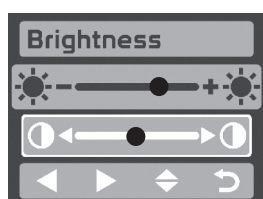


② UP または DOWN ボタンでカーソルを移動し、Display を選択して決定ボタンを押します。



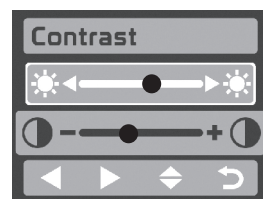
③ 輝度の調整

決定ボタンを押して Brightness を選択します。UP または DOWN ボタンで輝度を調整して決定ボタンを押します。



④ コントラストの調整

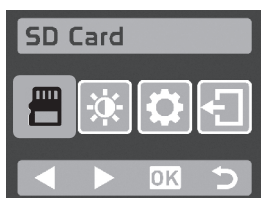
決定ボタンを押して Contrast を選択します。UP または DOWN ボタンでコントラストを調整して決定ボタンを押します。



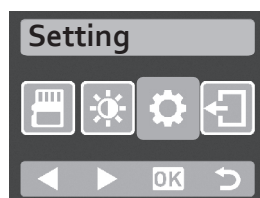
⑤ MENU/BACK ボタンを1度押してメインメニューに戻ります。

動画と静止画の設定をする

- ① MENU/BACK ボタンを 1 度押し、メインメニューを表示させます。



- ② UP または DOWN ボタンでカーソルを移動し、Setting を選択して決定ボタンを押します。



- ③ 記録サイズの設定

UP または DOWN ボタンで Resolution を選択し、決定ボタンを押します。



UP または DOWN ボタンで VGA または QVGA を選択し、決定ボタンを押します。



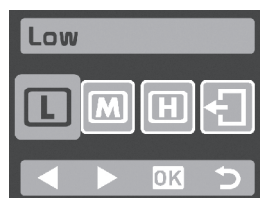
- ④ 画質の設定

UP または DOWN ボタンで Quality を選択し、決定ボタンを押します。



UP または DOWN ボタンで L、M または H を選択し、決定ボタンを押します。

画質 : L (Low/ 低画質)
M (Medium/ 中画質)
H (High/ 高画質)



- ⑤ 連写の設定

UP または DOWN ボタンで Snapshot を選択し、決定ボタンを押します。



UP または DOWN ボタンで 1 枚、3 枚または 5 枚を選択し、決定ボタンを押します。



静止画記録可能枚数と動画記録可能時間の目安

※マイクロ SD カード 2GB 使用時の目安です。

静止画			
	L (Low/ 低画質)	M (Medium/ 中画質)	H (High/ 高画質)
VGA	約 7 万枚	約 4 万枚	約 3 万枚
QVGA	約 20 万枚	約 13 万枚	約 9 万枚

動画			
	L (Low/ 低画質)	M (Medium/ 中画質)	H (High/ 高画質)
VGA	約 21 時間	約 11 時間	約 8 時間
QVGA	約 50 時間	約 33 時間	約 16 時間

※モニターに表示される映像は、L (Low/ 低画質) に設定したほうが、なめらかになりますが、マイクロ SD カードに記録される動画の画質は粗くなります。

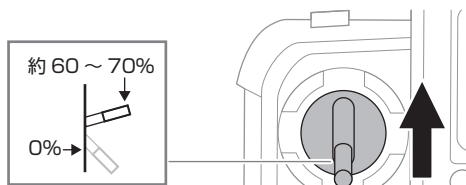
！安定した飛行をするにはトリム調整が必要です。かならずトリム調整してください！

- ❶ 使用前にかならずヘリコプター、コントローラーに破損しているところがないか確認してください。
- ❷ 操作中はヘリコプターから目をはなさないでください。

トリムを調整する

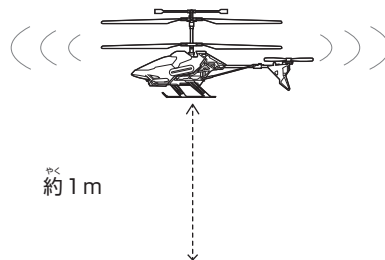
❶ トリムの調整はペアリングした後の操作です。

- ❶ コントローラーのスロットルレバーをイラストの位置（約 60% ～ 70%）を目安に倒し、ヘリコプターを離陸させます。



※ スロットルレバーの倒し方がゆっくりすぎると、メインプロペラの反動や風のはね返りを受け、ヘリコプターが地面で回転したり横倒しになることがあります。

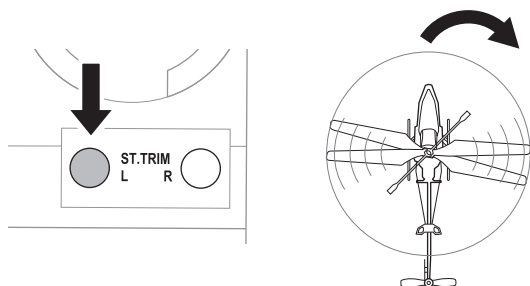
- ❷ スロットルレバーの位置を細かく調整して、ヘリコプターを腰の高さ程度（約 1 m）でホバリングさせます。



※ ホバリングとは、ヘリコプターの飛行高度を一定に保つことです。

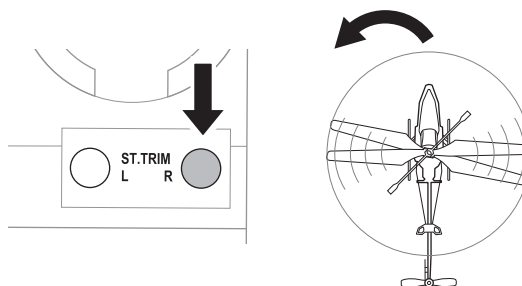
- ❸ ホバリング中にヘリコプターが右または左に回転するときは、コントローラーのトリム調整ダイヤルで調整します。

ヘリコプターが右に回ってしまうとき



ヘリコプターの回転がおさまるまで、コントローラーのトリム調整ボタン（ST.TRIM）の [L] をくり返し押し調整します。

ヘリコプターが左に回ってしまうとき



ヘリコプターの回転がおさまるまで、コントローラーのトリム調整ボタン（ST.TRIM）の [R] をくり返し押し調整します。

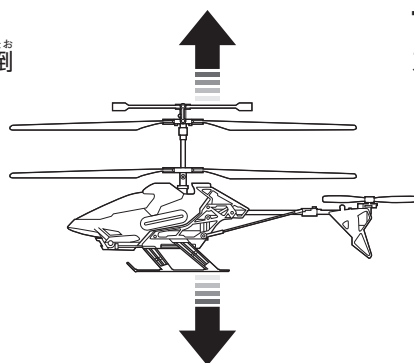
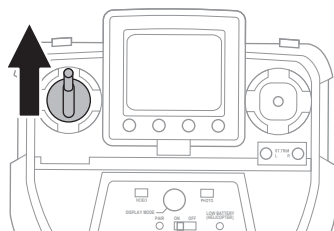
※ コントローラーの電源スイッチを OFF にすると、調整したトリムはリセットされます。使うごとにトリム調整をやり直してください。
※ ヘリコプターの電池残量が少なくなると、トリム調整をしても回転がおさまらないことがあります。ヘリコプターを充電してください。

基本操作

※ テイルプロペラは前後進時に回転します。上昇・下降・左右回転時には回転しません。

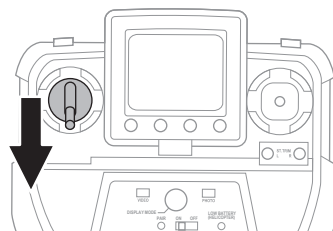
上昇

スロットルレバーをゆっくりと上に倒します。



下降

スロットルレバーをゆっくりと下に倒します。

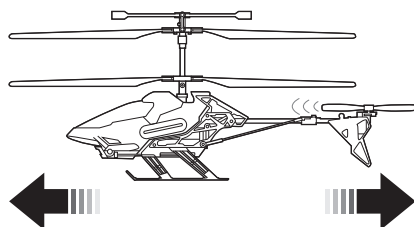
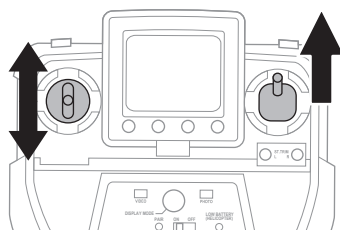


ホバリング

スロットルレバーの位置を細かく微調整して、ヘリコプターの高度を一定に保ちます。

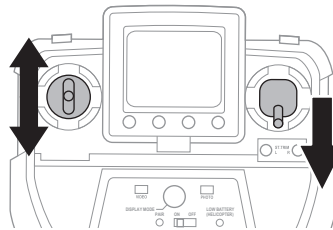
前進

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを上倒します。



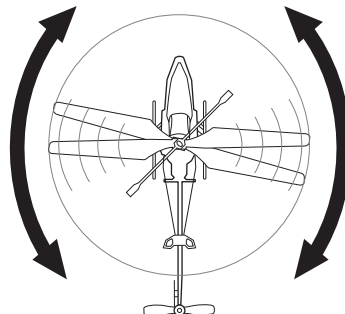
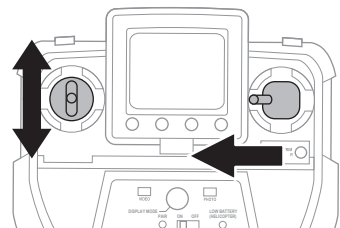
後進

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを下倒します。



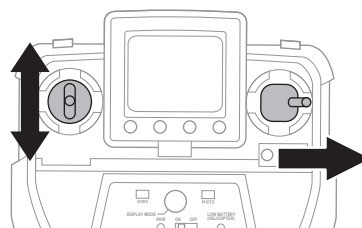
左回転

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを左に倒します。



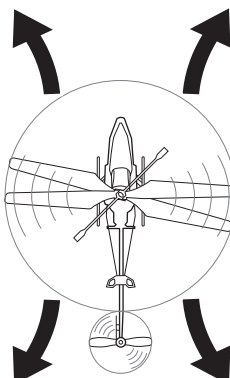
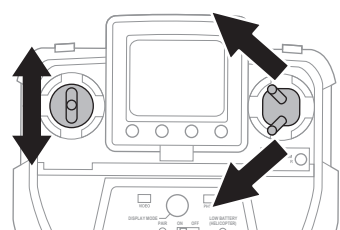
右回転

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを右に倒します。



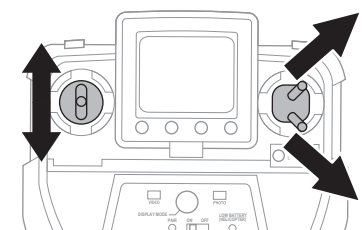
左旋回

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを少しずつ左なめ前方または左なめ後方に倒します。



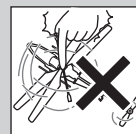
右旋回

スロットルレバーを調節しながら方向レバーを少しずつ右なめ前方または右なめ後方に倒します。



！ 操作に関する注意

- ① 離陸時は、ヘリコプターをかならず平らな場所に置いてください。
- ② 顔や頭に向けて飛ばさないでください。思わぬ事故やケガをするおそれがあります。目のケガを防ぐために保護メガネの着用をおすすめします。
- ① レバーはつねに少しずつ操作してください。急な操作をするとヘリコプターがバランスをくずして落ちます。
- ② 上昇または下降の操作をするときは、レバーを一気に倒さないでください。ヘリコプターが急上昇、または急降下して大変危険です。
- ① 回転または旋回操作をするときは、ヘリコプターの姿勢を安定させてから操作してください。
- ② レバーを一方向に倒したままにしないでください。ヘリコプターがバランスをくずして落ちるおそれがあります。
- ② ヘリコプターを地面、壁などにぶつけたり、落とさないでください。破損、変形、故障の原因となります。
- ① 正常に飛行しなくなるおそれがあります。ぶつけたり、落としたときは、すぐにスロットルレバーを一番下に倒してください。
- ① 落下などで電池フタが開いたときは、必ずネジをしめ直してください。(14 ページ参照)
- ① プロペラなどの可動部分に指や髪の毛、衣服などをまきこまれないように注意してください。ケガをするおそれがあります。
- ① 飛行が不安定になったり上昇しにくくなったら、ヘリコプターを充電してください。充電しても飛行時間が異常に短いときは、コントローラーの電池をすべて新しい電池に交換してください。
- ② 操作中、操作直後はモーターが熱くなります。絶対にさわらないでください。

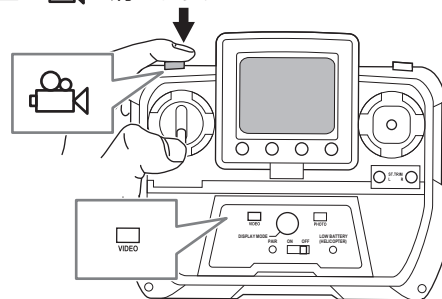
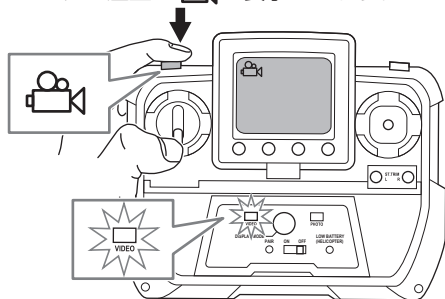


撮影する

- ① 静止画の撮影時は、かならずヘリコプターをホバリングさせてください。きれいに撮影できない場合があります。

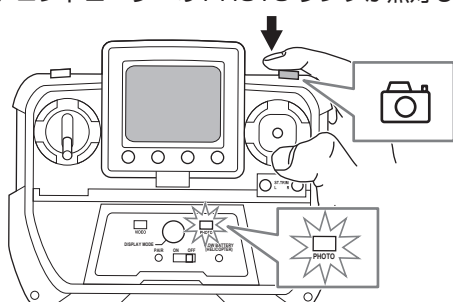
動画

- ① ヘリコプターの電池残量が少なくなると、録画途中でも録画が停止することがあります。ヘリコプターを充電してください。
- ① コントローラーの動画撮影ボタンを一度押すと録画を開始します。コントローラーの VIDEO ランプが点灯し、モニター左上に  が表示されます。
- ② もう一度動画撮影ボタンを押すと録画を停止します。コントローラーの VIDEO ランプが消灯し、モニター左上の  が消えます。



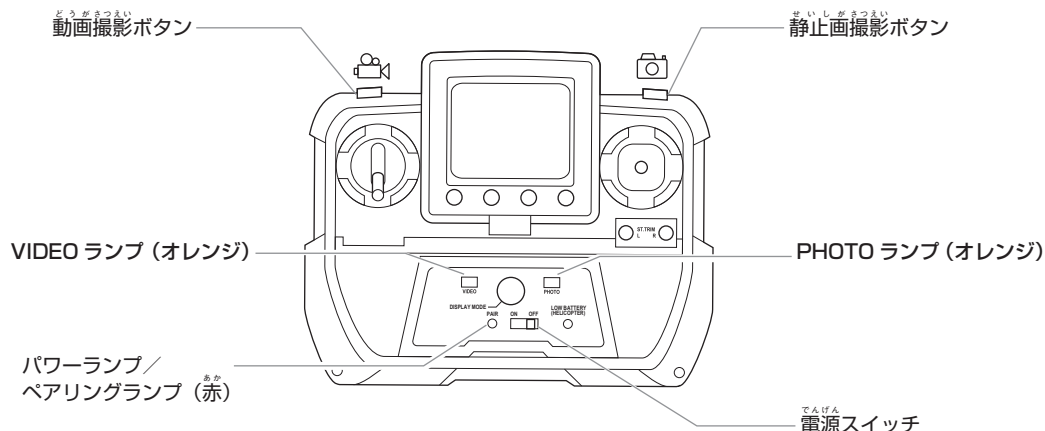
静止画

- ① コントローラーの静止画撮影ボタンを押すと撮影します。コントローラーの PHOTO ランプが点灯します。



ヘリコプターが強い衝撃を受けたとき

ヘリコプターが墜落するなど外部から強い衝撃を受けると、コントローラーの VIDEO ランプまたは PHOTO ランプが点灯していても、動画および静止画を撮影できないことがあります。また、動画撮影中に衝撃を受けると、コントローラーの VIDEO ランプが点灯していても動画撮影が停止していることがあります。このようなときは、ヘリコプターとコントローラーの電源スイッチを OFF にしたあと ON にして、再度ペアリングしてください。(6ページ参照)

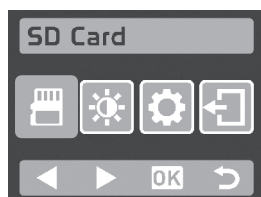


強い衝撃を受けていないのに撮影できないときは、「故障かなと思う前に」(15 ページ参照)をよくご確認ください。

撮影した動画と静止画を確認する

コントローラーのモニターで確認する

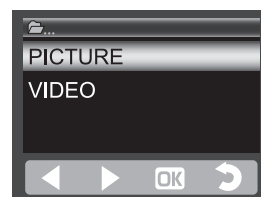
- ① MENU/BACK ボタンを1度押してメインメニューを表示させ、SD Card を選択して決定ボタンを押します。



- ② Play を選択して決定ボタンを押します。



- ③ 静止画を確認するときは、UP または DOWN ボタンでカーソルを移動し、PICTURE を選択して決定ボタンを押します。



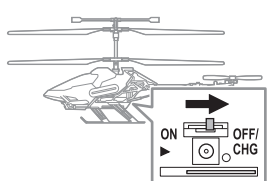
動画を確認するときは、UP または DOWN ボタンでカーソルを移動し、VIDEO を選択して決定ボタンを押します。



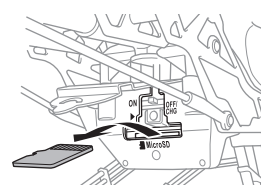
- ④ 静止画は P_000 フォルダに、動画は V_000 フォルダに保存されています。確認するファイルを選択して決定ボタンを押します。

パソコンで確認する

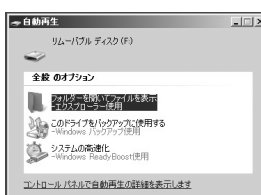
- ① ヘリコプターの電源スイッチを OFF にします。



- ② マイクロ SD カードカバーを開けてヘリコプターからマイクロ SD カードを抜きます。



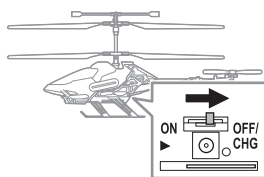
- ③ カードリーダーなどを使ってパソコンに接続すると、自動再生ウィンドウが起動します。それぞれ Video と Picture フォルダに保存されているファイルを確認します。



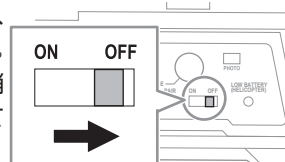
※ パソコンでの動画の再生には SMPlayer が必要です。
<http://sourceforge.jp/projects/smplayer/> からダウンロードしてください。

遊び終わった後は

- ① ヘリコプターの電源スイッチをOFFにします。パワーランプ（赤）が消えていることを確認します。



- ② コントローラーの電源スイッチをOFFにします。パワーランプ（赤）が消えていることを確認して電池をはずします。



- ③ 使用後はこわれているところがないかならず確認してください。ヘリコプタープロペラやギアに髪の毛やほこりなどの異物がからまっているときは取りのぞいてください。



保管に関する注意

- ⊘ 自動車の中や直射日光が当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。自動車の内装や部品に悪影響を与え、火災の原因となるおそれがあります。
- ❗ 使用後はかならずヘリコプター、コントローラーの電源スイッチをOFFにしてください。電池の消耗、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。
- ❗ 運搬時や長期保管するときは、破損、変形を防ぐため商品パッケージに入れてください。
- ❗ 長期保管の際は、コントローラーの電池をはずしてください。
- ❗ ヘリコプターに他のものが触れないように、平らな面に水平に置いてください。他のものが触れたり斜めに置くと、破損・変形するおそれがあります。
- ❗ 充電式電池を使用せずに長期間保管すると、充電できなくなることがあります。約半年に一度充電して使用してください。

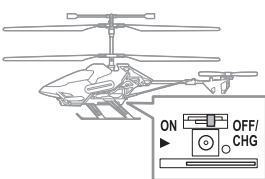
専用充電式電池の販売について

テレビファルコン vol.2 専用充電式電池は弊社オンラインショップで単品販売もしています。
 シー・シー・ピー オンラインショップ： <http://ccpnetshop.shop7.makeshop.jp/>

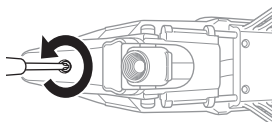
パーツ名	単価 (消費税・送料別)
87490-BAT テレビファルコン vol.2 専用充電式電池 (1個)	¥1,800
USB 充電ケーブル (1本)	¥300

専用充電式電池の交換方法

- ① ヘリコプターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

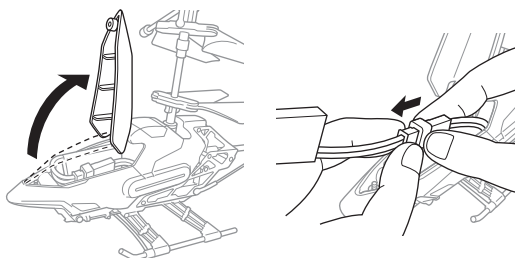


- ② ヘリコプター底部のネジを、精密ドライバーでゆるめます。

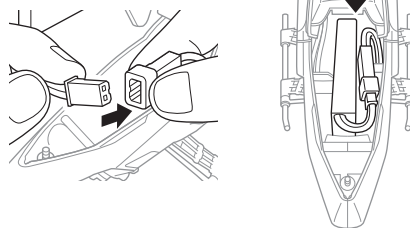


※ #0 (2mm以下) または #1 (2.0~2.6mm) の精密プラスドライバーを使用してください。精密ドライバーは量販店等でご購入してください。

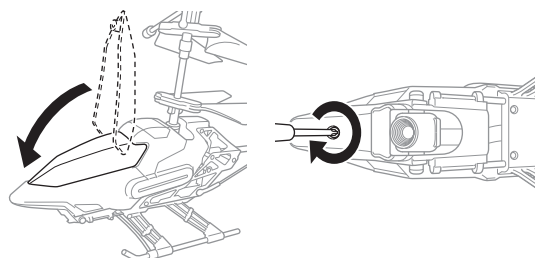
- ③ 電池フタを開けて、充電電池とヘリコプターを接続しているコネクタをはずします。



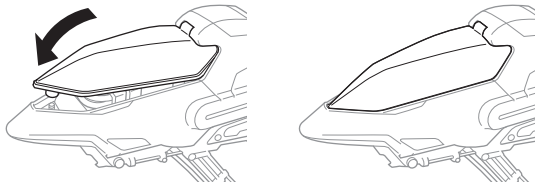
- ④ 新しい充電済みの電池とヘリコプターのコネクタを、イラストの向きでしっかりと接続します。イラストのように収納します。



- ⑤ 電池フタを閉め、精密ドライバーでヘリコプター底部のネジをしっかりとめます。

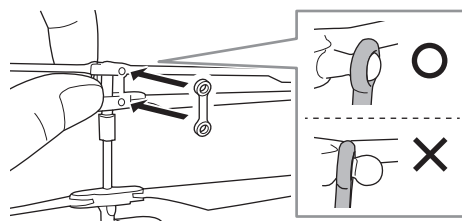


※ 電池フタを閉める際は、一段内側になっている電池フタの縁が、ヘリコプターボディ内に収まるよう閉めてください。



故障かなと思う前に

ヘリコプターが回転して離陸しないとき、リンクアームがはずれていることがあります。リンクアームが正しく取り付けられているか確認してください。はずれていたたり、取り付けが正しくないときは、イラストのようにシャフト部を持って、リンクアームを取り付けてください。



故障かなと思う前に

状態	原因	直し方	参照ページ
ヘリコプターが動かない。	コントローラーの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れ直してください。	5ページ
ヘリコプターが勝手に動く。	コントローラー用電池が消耗している。	すべて新しい電池と交換してください。	5ページ
操作ができない。 上昇しない。	ヘリコプターの電池が消耗している。	ヘリコプターの電池を充電してください。	5、6ページ
	プロペラやギアに髪の毛やほこりなどの異物がからまっている。	つまようじなどのとがったもので異物を取りのぞいてください。	—
	気温が低い。	気温が5℃以上のところで操作してください。	2ページ
	電波が届いていない。	操作可能範囲内で操作してください。	3ページ
	ペアリングしていない。	ペアリングしてください。	6ページ
	ヘリコプターの電池の接続状態が悪い。	再度、ヘリコプターの電池とコネクタをしっかりと取り付けてください。	14ページ
コントローラーからの充電中、ヘリコプターの充電ランプ（緑）が点灯しない。	充電プラグの接続状態が悪い。	再度、充電プラグを充電ソケットにしっかりと取り付けてください。	5ページ
	ヘリコプターの電源スイッチがONになっている。	ヘリコプターの電源スイッチをOFFにしてください。	5ページ
パソコンからの充電中、ヘリコプターの充電ランプ（緑）が点灯しない。	USB コネクタまたは充電プラグの接続状態が悪い。	再度、USB コネクタまたは充電プラグを充電ソケットにしっかりと取り付けてください。	6ページ
	ヘリコプターの電源スイッチがONになっている。	ヘリコプターの電源スイッチをOFFにしてください。	6ページ
	パソコンの電源がOFFになっている。	パソコンの電源をONにしてください。	6ページ
ヘリコプターが操作に関係なく回転する。 左右のどちらかが回転しにくい。	ヘリコプターのバランスがとれていない。	コントローラーのトリム調整ダイヤルでバランスを調整してください。	9ページ
	プロペラやギアに髪の毛やほこりなどの異物がからまっている。	つまようじなどのとがったもので異物を取りのぞいてください。	—
	風が強い。	できるだけ風のない状態で操作してください。	—
	リンクアームがはずれている。	リンクアームを取り付けてください。	14ページ
動画の撮影ができない。	ヘリコプターの電池残量が少ない。	ヘリコプターを充電してください。	5、6、11ページ
ヘリコプターがまっすぐ離陸しない。	プロペラが回転する力によりヘリコプターはまっすぐに離陸しない。	スロットルレバーを60～70%を目安にすばやく倒してください。	9ページ
90分を過ぎても充電完了しない。	コントローラー用電池が消耗している。	すべて新しい電池と交換してください。	5ページ
コントローラーのパワーランプ（赤）が早く点滅している。	コントローラーの電池が消耗している。	すべて新しい電池と交換してください。	5ページ

アフターサービスについて

ご購入いただいた製品に初期の不具合がありましたら、【株式会社シー・シー・ピー サービスセンター】にご相談ください。

<修理について>

修理を依頼されるときは、もう一度取扱説明書の「故障かなと思う前に」をよくご確認ください。それでも異常があるときには、【株式会社シー・シー・ピー サービスセンター】にご相談ください。

お客様がご使用になられて生じた故障や破損の修理は有料となります。また、修理をお受けする際の往復送料についてもお客様にご負担いただきます。

- 修理品発送の前に、本体ならびにコントローラーの電池が消耗していないか必ずご確認ください。
- 修理品のご発送時には、コントローラーなどの電池をかならずはずしてください。間違えて送られても、お返しできない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- お預かりした製品に分解・改造の形跡が見られた場合、修理をお断りいたしますのであらかじめご了承ください。

※修理・別売りパーツをサービスセンターにお申し込みいただいてからお客様に発送するまで、通常 10 ～ 14 日ほどかかります。年末年始・ゴールデンウィークなど、時期によっては混み合いさらに日数がかかることがあります。あらかじめご了承ください。

※アフターサービスは国内のみの対応とさせていただきます。

※ Customer service of this product can be performed only in Japan.

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

〒135-0064

東京都江東区青海 3-2-17

ワールド流通センター A 棟 ユニエックス倉庫内

TEL : 03-3527-8866

電話受付時間：月～金曜日（祝祭日は除く）

9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00

※ 電話番号をよくお確かめのうえ、お間違いないようご注意ください。



Li-ion

充電式電池リサイクルのお願い

この製品の専用充電式電池にはリサイクル可能な充電式リチウムイオンポリマー電池を使用しています。使用済みの充電式電池を貴重な資源として再利用するため、リサイクルにご協力ください。（リサイクルすることは、ゴミを減らし環境を守ることに繋がります。）

使用後はリサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは一般社団法人 JBRC のホームページを参照してください。

<http://www.jbrc.com>

※ 専用充電式電池の取り外し方は 14 ページを参照してください。

本機を使用して記録、保存されたデータの消失、破壊、紛失、盗難等による損害については、当社はいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。



株式会社 シー・シー・ピー 〒111-0043 東京都台東区駒形 2-5-4 <http://www.ccp-jp.com>

INS-87490-CCP
2014.05